

なぜ「タネとり探検隊」で木の種をとったの？

せいたいがくてきこんば こんしょくほう - 生態学的混播・混植法について -

留萌ダムは、平成21年度の完成に向けて工事を行っています。
「留萌ダム建設事業所」では、将来、ダムが完成したときに、緑の
多い自然豊かなダムになるように、工事によって緑が失われた所
や、もともと緑が少ない場所に木を植える予定です。

今まで木を植える場合は、苗木や成長した木を買って植えるのが
普通でした。

しかし、買って来た木を無事に成長させるのは大変手間がかかり、
病気になったり枯れてしまうことが多くありました。

その理由は、売っている木は、大きくするためにたくさんの肥料を
与えて、大事に育てているからです。

そのために、売っている木は育ちが良く見栄えも良いのですが、別
の場所に植え替えると、病気になったり枯れてしまうことが多いの
です。

それに比べて、みなさんが種採りに協力してくれた「生態学的
混播・混植法」は、木を植える場所の近くの山に生えている木の種
を採り、種から苗木を育てて植える方法なので、その土地に合う木を
植えることができます。

みなさんが採った種は、ほとんど肥料のない土にまきます。
そして、芽が出た後も肥料は一度も与えずに、水だけを与えて成長
させます。

このようにして育てた苗は、売っている苗と比べると小さくてあ
まり見栄えは良くありません。

しかし、肥料のない厳しい環境で育った苗は、「強い苗」になり

ます。

強い苗は外に植え替えをしても、肥料が少なくて枯れる心配がありません。

また、病気にも強いので、あまり人手をかけずに木を生やすことが出来るのです。

